

DP2 デジタルパソロジーを用いた地域遠隔病理診断ネ

ットワークの構築 — 旭中央病院の試み

Construction of a remote pathology-diagnosis network using digital pathology - Asahi General Hospital project

深山正久¹⁾、山内直子²⁾、高岡克之³⁾、鈴木良夫³⁾、崎山正章⁴⁾

国保旭中央病院 遠隔病理診断センター¹⁾、附属病理診断科診療所²⁾、臨床病理科³⁾、医療情報室⁴⁾

Masashi Fukayama¹⁾, Naoko Yamauchi²⁾, Katuyuki Takaoka³⁾, Yoshio Suzuki³⁾, Masaaki Sakiyama⁴⁾

¹⁾Asahi TelePathology Center, ²⁾Pathology-Diagnostic Clinic, ³⁾Department of Clinical Pathology, and

⁴⁾Department of Medical Informatics, Asahi General Hospital

=抄録=

旭中央病院において 2019 年 4 月から取り組んできた地域遠隔病理診断ネットワークの構築について紹介する。2019 年 11 月、病理医不在の地域がん診療病院との間で病理デジタル画像を用いた遠隔病理診断（保健機関間連携）を開始し、遠隔切出し、組織診断、迅速診断、細胞診断を行っている。さらに 2021 年 6 月、地方独立行政法人として初めて東京（文京区本郷）に病理診断科診療所を開所し、東京から旭中央病院の病理組織診断を支援している。これらの取り組みは都市部、地域間をつなぐ地域病理診断ネットワークの一つのモデルと見えよう。日本における病理診断システムの在り方について、意見交換をお願いしたい。